

AI時代の知財制度構築を考える ～知的創造活動の変化と知財権、必要な人材とは～

2025年9月11日

富士通株式会社

ビジネス法務・知財本部

知財グローバルヘッドオフィス長

和泉 恭子



ITサービスの分野で
日本第1位
グローバルでも上位にランクイン



2024年度
売上収益 3兆5,501億円



グローバルで113,000人（連結）の
従業員が、世界約**49の国と地域**に
ある拠点よりサービスを提供



1935年 - 設立から**90年**、
様々なテクノロジーを世に生み出し、
社会やお客様の発展に貢献



◆価値創造モデル

2030年に向けたVision：デジタル
サービスによってネットポジティブを
実現するテクノロジーカンパニーへ

テクノロジー・知的資本

- ・R&D投資額 1,233億円/年
- ・経営基盤強化投資額（社内DX） 約750億円/年

コンサルティング力
の強化

Fujitsu Uvance
の成長シナリオ

4つの
注力分野
Our
business

技術的競争優位性
を加速するAI戦略

モダンイゼーションと
デリバリー変革による
DX支援

Fujitsu's AI Journey

(2023年4月以降)

FUJITSU

Phase 1

2023年4月



Fujitsu Kozuchi

AIプラットフォームを公開し50以上のエンジンやコンポーネントを提供

Phase 2

2024年6月



エンタープライズ
生成AIフレームワーク

企業における生成AIの活用上の課題を解決、セキュリティ不安を払拭する富士通のエンタープライズ生成AIフレームワークを発表

Phase 3

2024年9月



Takane

日本語精度No.1のエンタープライズ大規模言語モデル「Takane」の提供を開始

Phase 4

2024年10月



Fujitsu Kozuchi
AI Agent

人と協調し高度なタスクを自律的に実行することができるAIエージェントを公開

AIは「まず使ってみる」から「見極め」の段階へ

AIを活用した企業変革

2030年の予測

サンプル数：800

AIで駆動されるビジネス

81%

自社のビジネスプロセスの
50%以上にAIが組み込まれる

79%

AIが自社の経営やあらゆる業務に浸透し、
AIで駆動される企業に変革する

人とAIの協働

79%

すべての従業員がAIの支援を
受けて業務を遂行するようになる

82%

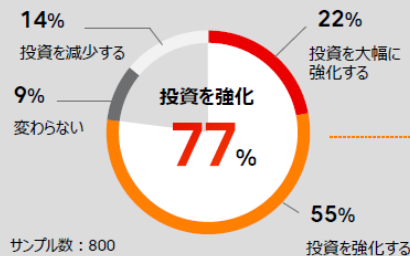
AIの活用が自社の労働力不足を
緩和する鍵になる

2025年富士通CxO調査レポート：
グローバルのビジネスリーダー800名に調査

<https://global.fujitsu/ja-jp/about/vision/leadership-challenges/cxo-survey-2025>

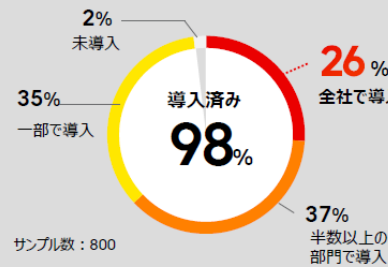
AIは実証から実践へ

今年のAIへの投資計画



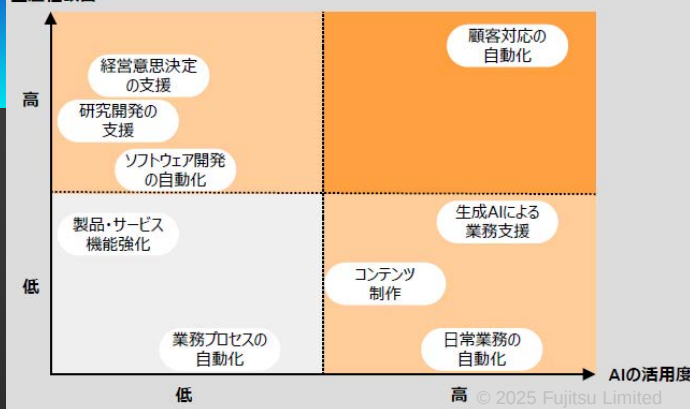
生成AIの導入が拡大

生成AIの導入状況



AI活用による 生産性向上

生産性改善



富士通における生成AI実践

富士通自身の生成AIによる変革を加速するため、全社で生成AIを利活用できる環境を2023年5月に整備し全社一丸で推進

17万回

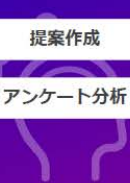
- 自社内で徹底的なAI実践
- 今では1日でおおよそ17万回のAI活用（1年前の約10倍）
- Monthly Active User(*1)は約35,000名

コード生成

提案作成

レポート自動化

アンケート分析



92万時間

- Fujitsu Kozuchi 因果発見を活用し、AI利用による作業時間効率化の因果を分析
- 最初の1年間でおよそ92万時間相当の作業効率化効果



1,100名

- AIタスクフォース：富士通でのAI推進をリードするDAO(*2)型コミュニティ
- 356組織から1,100名が参加
- AIビジネス活性化やAIガバナンスなど、様々なテーマ



AI Agent

- AI Agentを実践的に使い、さらなる業務変革を推進
- まずはフロント業務でのエージェント適用がスタート



(*1) Monthly Active User：月に一度以上生成AIを利用したユーザー数。

(*2) DAO：分散型自立組織。特定の管理者を置かず、参加者全体での合意形成により運営される組織。

富士通テクノロジー戦略説明会
<https://pr.fujitsu.com/jp/ir/library/presentation/pdf/20241212-01.pdf>

さらに全社のAI実践をドライブするイニシアティブ始動！

- **[富士通]AI倫理ガバナンス**
- **[富士通]生成AI利活用ガイドライン**

全社DX活動と生成AI実践

- 全社DXプロジェクト「フジトラ」(Fujitsu Transformation) 始動 (2020年～)
- デジタル時代の競争力強化を目的として、業務プロセスや組織、企業文化・風土を変革する



- 「OneDigital」プロジェクト始動 (2024年～)
- 全社員一丸 (One) となって業務のデジタル化 (Digital) に取り組む生産性向上プロジェクト
- 全社員がデジタルパーソンとなることで、1人当たりの生産性を40%向上させることを目指す

生成AIは「読み書きそろばん」と同じく社員の必須スキル

知財部門での生成AI活用

ツール: In-house (共通)、3rd Party (共通/知財特化)

対象業務: 周辺業務 (文書要約、議事録作成、メールドラフト、資料作成、情報収集、データ処理、アンケート分析、翻訳支援、マクロ作成・・・)、**知財業務** (特許・意匠・商標調査・検索補助、技術動向調査、IPランドスケープ、発明発掘・明細書作成・中間応答、契約ドラフト・チェック、FAQ対応・・・)

人材育成・活用支援: 全社コンテンツを利用した各自のスキルアップ、部門内のレクチャーやナレッジシェア、IT部門による支援



Thank you